

地域活性化のためのグリーンツーリズムの現状と課題

1130438 岸本 晃二
高知工科大学マネジメント学部

1、概要

農水省によれば、グリーンツーリズムとは「農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動」である。ヨーロッパでは、例えば農村において余暇としてバカンスを過ごすことも多く、ルーラル・ツーリズム、ツーリズム・ベール等と呼ばれることもある。国内では地域活性化策の一つとして、農水省が 1992 年度から国内 50 か所をモデル地区に認定し、農山漁村における文化、自然、交流を楽しむ余暇活動として推進してきた。

筆者は、このグリーンツーリズムに着目し、先進地区として長年成果を上げている安心院町の事例を文献やデータから詳細に調査し、聞き取り調査を行いながら検証することで、地域活性化に資するグリーンツーリズムの現状と課題を探った。

2、背景

地域活性化は、日本全体にとって、とても重要な課題である。急激な人口減少時代を迎え、少子高齢化が進む中で、地方における地域資源を活用した内発的な地域活性化の方策が望まれているのが現状である。筆者は、その方策の一つとして、農水省が推進しているグリーンツーリズムに着目した。全国において最も成果を上げている取り組みの一つに大分県の安心院町がある。この事例を調査しながら、取り組みがあまり活発でない地域が多いことに疑問を持ち、

先進事例とどのような相違点があり、どのような発展的展開の可能性が残されているのか調査すべきと考えた。

3、目的

現在の日本では、地方に活気がなくなっているのが現状であり、その解決策として本論では自然を活用した観光振興による地域活性化の一例として、グリーンツーリズムに注目し、グリーンツーリズムの概念、国内外におけるこれまでの取り組み、先進事例、取り組みの現状と課題等を、文献調査と聞き取り調査から検証を行い考察した。

4、研究方法

本調査研究においては、自然を活用した観光振興による町づくりを行っている大分県宇佐市安心院町を事例に分析を行った。まず既存文献や公表資料、各種データをもとに文献研究を行う。これらのデータをベースに現状分析を行い、グリーンツーリズムによるどのような取り組みが地域活性化へと導いているのかを調査していった。

5、結果

安心院のグリーンツーリズム研究会設立当初には、527 人だった来訪者が現在では約 25 倍の 1 万 3376 人にまで増加している。これは、安心院式グリーンツーリズムによる、会員制農村民泊や自然を活かしたイベントなどが実施されていたり、さらに修学

旅行受け入れのシステムを確立したり、客層や地域を絞った PR を行うといった、来訪者を呼び込む努力を行い、また、リピーターを呼び込む努力を怠らなかった。この結果、修学旅行の受け入れだけで現在では年間 6000 万円以上の経済効果があるとわかった。この経済効果から安心院町では、地域活性化に成功したのだと分析した。

6. 考察

調査してきた結果から、自然を活用した観光振興による地域活性化のために、2つの条件を満たす必要があると考える。1つ目は、地域一体で町づくりの気運が醸成されなければならないことである。2つ目は、その地域の景観や文化を見失わないような観光地づくりが必要だということである。しかし、これらは必要条件であり、これら条件が揃っていたとしても活性化されるとは限らないが、これら2つの条件がそろわなければ地域活性化は難しいと考える。また、安心院の場合、取り組みの特徴として農村民泊受け入れ家庭の人と来訪者が家族同様に過ごすということを強く図ることができたということが安心院町の魅力をより強く引き出し、来訪者の人々に満足して帰って行ってもらった結果リピーターが増えていったのだと考える。特別な自然資源が無くてもありのままの自然を活用して先ほどのような必要条件をそろえ、うまく宣伝することができ、来てもらった来訪者の人々との心の交流をすることができた結果満足して帰ってもらうことができれば、それがリピーターにつながるであろうと考えた。そして、筆者の考える地域活性化の基準は、来訪者増加による経済効果であるか

ら安心院町の自然を活用した観光振興による地域活性化は成功したと言えると考える。このような活動が日本の各地で活発になっていけば地方もだんだんと元気になっていくのではないかと。

【参考文献】

[1]農水省ホームページ：

<http://www.maff.go.jp/>

[2]宮田静一『しあわせ農泊—安心院グリーンツーリズム物語』西日本新聞社,2010年。

[3]NPO法人グリーンツーリズム研究会ホームページ：

<http://www.ajimu-gt.jp/page0113.html>

[4]大分県宇佐市安心院支所「安心院型グリーンツーリズムの推進～地域資源を活かす～」